

献詠入選歌（一般の部）

一位 ゆくりなくつかまり立ちの曾孫の手りハビリ中の手が支えをり

三重県伊賀市

服部あや

二位 大雪のふるさとのなかただひとつ青いままなり一両列車

横浜市港北区

森山比沙

三位 井戸水のポンプ押すたびあかあかとはうれん草の根の洗はるる

愛知県名古屋市瑞穂区 清水良郎

四位 テレワーク・ワーケーションに人口が三人増えるわが過疎の村

北海道札幌市東区

藤林正則

献詠入選歌（小・中学生の部）

一位 食パンを耳だけ食べる父が好き恥ずかしそうにオハヨウと言う

名古屋市立守山中学校

水野結雅

二位 恥ずかしくなかなか言えぬありがとうカーネーションに全てを託す

大磯町立国府中学校

白井萼花

三位 マスクして毎日過ごす最近友達顔忘れそうだな

大磯町立国府中学校

本間結香

四位 冬至の日今亡き祖母のゆず来ない入浴剤でゆず風呂はいる

大磯町立国府中学校

小島侑己

献詠入選歌（高校生の部）

一位 汗ばんだ両手と息で待つ合図オールは風のように忘れて

愛知県立旭丘高等学校

渡邊美愛

二位 「吹っ切れた。」笑顔で言えたはずなのに嫉妬してる自分が嫌だ

武蔵野大学附属千代田高等学院

正木亜美

三位 スカートをふわりと揺らす背を見つめ写真に撮るには遠すぎた冬

星野高等学校

延島永都美

四位 手を洗いお皿を2枚取り出して半分にしていただきますと

東京都立足立東高等学校

田中佳穂